

## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策：05 一人一人が学ぶよこびを実感できるまちを目指します

基本施策：03 学校給食の充実

主管課長職・氏名	学校給食センター長 近藤 整
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>学校給食に安全で新鮮な地場産品の活用や給食センターの施設設備等の計画的な改修整備を行うことにより、児童・生徒に安全安心な学校給食を提供します。</p> <p>また、児童・生徒が将来にわたって健康に生活していくため、望ましい食習慣を理解し実践できるよう、学校と連携し食の指導の充実に努めます。</p> <p>滝沢中央小学校の開校に向けて、給食提供にかかる環境整備を計画的に進めてまいります。</p>
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し  単 位 kg 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量	9,538	9,800	9,800	9,800	9,900	9,900	B	
			9,805	9,114	9,588	-	-	13.8	
2	幸 福  単 位 回 家族一緒に食事をする回数（1週間）	10.12	10.5	11	11.5	12	12.5	B	
			9.51	10.17	10.64	-	-	21.8	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し  単 位 kg 05030100 安全安心な学校給食の提供と食育の推進 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量	9,538	9,800	9,800	9,800	9,900	9,900	B	
			9,805	9,114	9,588	-	-	13.8	
2	幸 福  単 位 回 05030100 安全安心な学校給食の提供と食育の推進 家族一緒に食事をする回数（1週間）	10.12	10.5	11	11.5	12	12.5	B	
			9.51	10.17	10.64	-	-	21.8	
	単 位								
	単 位								
	単 位								

## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策：05 一人一人が学ぶよこびを実感できるまちを目指します

基本施策：03 学校給食の充実

主管課長職・氏名	学校給食センター長 近藤 整
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心な学校給食を提供するため、地場農産物の使用を推進しました。</li> <li>学校給食を安全かつ確実に提供するため、計画的に施設設備の修理修繕を実施しました。</li> <li>給食への関心や食べることへの意欲を持たせることを目的に「希望献立」の実施、正しい食習慣を理解することを目的に「食に関する指導」の実施をしました。</li> </ul>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【安全安心な学校給食の提供と食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滝沢市学校給食食材生産供給組合からの年間納入量、食に関する指導回数、給食費収納率向上</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地場農産物の納入量を増加しました。（H28:9,114kg、H29:9,588kg）</li> <li>食に関する指導回数を増加し達成しました。（H28:137回、H29:140回）</li> <li>給食費現年度分収納率を向上させ達成しました。（H28:99.01%、H29:99.30%）</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーの種類の多様化に対する対応。</li> <li>塩分摂取量の削減のための減塩対策。</li> </ul>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徹底した安全衛生管理のもと、引き続き安全安心な学校給食の提供にあたり、「施設設備の計画的な改修修繕」及び「地場農産物の活用を促進した食育推進」を図っていく必要があります。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別施設計画の策定による計画的な施設設備の改修・修繕。</li> <li>気候変化に対応した地場農産物受入量の安定確保、生産供給組合員の高齢化による事業継続の不透明化。</li> </ul>	

